|  |
| --- |
| 第21回　災害対策委員会議事録 |
| 日　時 | 令和1年11月17日（日）13:30～16:10 |
| 場　所 | 榊原病院 第一研修室 |
| 参加者 | 辻（委員長）、東（桑名ブロック）、長谷川（四日市ブロック）、竹本（鈴鹿ブロック）、堀川（津ブロック）、高柳（松阪・伊勢ブロック）、岡（松阪・伊勢ブロック）、西村（熊野ブロック）、三上（オブザーバー）、牛塲（三重県精神保健福祉士協会副会長） |
| 欠席者 | 藤岡（伊賀ブロック） |
| 書　記 | 竹本（鈴鹿ブロック） |
| 議　題 | １．各ブロックからの報告について２．ＰＨＵＧの検討（名称・進め方・ワークシート・マニュアル）３．ＰＨＵＧの実践及び振り返り４．その他（メーリングリストについて） |
| 議事内容 | １．各ブロックからの報告について　　・台風による冠水で死者が出た地域や浸水被害の報告があったが、特に大きな被害がみられなかったとの報告あり。　　・台風19号が接近した際には、近隣住民よりも遠方から避難された方、車のみを避難しに来た方がいた。　　・「ＥＭＩＳ」というサイトを通じて各地の被害状況や応援要請などの情報が確認できる。２．ＰＨＵＧの検討　　・松阪・伊勢ブロックで前回決定した流れに沿って模擬体験を実施したところ、様々な問題点が浮き彫りになったため、その対策として、災害対策委員のメンバーで同様に模擬体験を行い、検討する。　　＜一連の流れ（案）＞　　　Ｐ－ＨＡＧ（仮名称）作成の経緯・目的説明→アイスブレイク（相談の受け手を決める）→ロールプレイ（約20分１セット）×３回→総評→アンケート記載→委員長挨拶　　　※２回目と３回目のロールプレイの間に数分程度のミニゲームを行う。　　＜ロールプレイ１セットの流れ（案）＞　　　グループの１人に相談内容が明記された３枚あるカードの中から１枚選んでもらう→相談形式のロールプレイ①→カードをグループに見せて話し合い（２分）→相談形式のロールプレイ②→ヒントを与えて話し合い（２分）→相談形式のロールプレイ③→解説（５分）３．ＰＨＵＧの実践及び振り返り　　・相談の受け手の順番は参加者に緊張感を持っていただくため、２回目・３回目はサイコロで決めるのはどうか。　　・相談者からの相談時間は各数分程度とし、きちっとした時間は設けない方法にしてはどうか。　　・ゲームの名称は参加者から募るのはどうか。　　・相談者（災害対策委員）の役作り・スキルが重要ではないか。　　・次回の開催日が令和２年２月８日(土)予定だったが、その前に１回改めてロールプレイを行い、検討したほうがよいとの結論に至り、令和２年１月１９日（日）に開催することとなる。４．その他　　・メーリングリストの件は送ってもよいという連絡先で調整する方向ですすめる。 |
| 次　回 | 日　時： 令和2年1月19日（日）13:30～16:00場　所： 榊原病院　第一研修室書　記：  |